

新興民主主義における政党制の研究

——民主化の第三の波から30年——

間 寧

民主主義の定着には、国民の要求を集約して政策に反映させる制度の構築が必要である。その役を果たすのが政党である。院内政党の集合体である政党制のあり方は、新興民主主義の機能を大きく左右する。世界的な「民主化の第三の波」が本格化した1980年代以降、新興民主主義の政党制はどのように進化してきたのか。

このテーマについての初期の研究では、(1)各政党の得票率が選挙ごとに大きく変動する（投票流動性が高い）、(2)政党が属人的で政策志向を欠く（政策欠如）、(3)政党が政策よりは特定有権者への利益供与で支持獲得を狙う（買票）、と指摘されてきた。本稿はこの3点について最近の知見を概観する。

●選挙繰り返しの安定効果

政党制の安定性を先進・新興民主主義国について分析した研究（参考文献①）は、投票流動性を低下させるのは、民主主義がどれだけ長く続いたかではなく、民主主義がどれだけ早く成立したかであることを示した。近代では政治家は選挙で勝つためには政党を頼りとしたので政党組織が強化され、有権者の政党帰属意識が世代を超えて培われた。これに対し、現代では政治家はメディアを通じて有権者に訴え、政党に十分な投資を行わないため、現代に設立された民主主義は政党支持が不安定であるというものである。

しかし新興民主主義国のみを分析した研究によれば、選挙を繰り返すにつれ投票流動性は下がる（参考文献②）。選挙の繰り返しは、政党認知度上昇と政党の立ち位置修正をもたらすことで、主要政党が社会構造をより正確に反映するようになるからである（参考文献③）。ただし選挙繰り返し効果は、右派政党よりも左派政党を利する。選挙争点が次第に、左派政党の看板である所得分配に移るからである。すると右派政党は価値観を強調する政策立場を取るようになる（参考文

献④）。党綱領分析から得られたこの知見は、今日の東欧における右派政党の民族主義化を言い当てている。

●政党が政策志向になる条件

新興民主主義国でも政党が政策志向に転換することはある。その条件は何か。1つには、経済危機への対応を巡り政策競争が起きることである。ラテンアメリカは1980～90年代に経済危機への対応として市場主義的改革を余儀なくされた。改革を右派政権が実施した国ではその後、政党制と投票行動が安定した。左派野党が改革への対抗政策を出す結果、政策競争が起きるからである。逆に、左派・ポピュリスト政権が改革を実施すると選挙公約違反になり、右派野党も改革を否定できないので政策競争が起きない（参考文献⑤）。

もう1つは、権威主義体制で政策志向的だった与党が民主化に関与することで、民主化後も強い政党として残る場合である。他の政党も対抗上、組織化と政策志向を強める。典型例は、台湾、インドネシア、モンゴルである（参考文献⑥、⑦）。他方、権威主義体制与党が民主化を主導しても政策志向でないと、政党で政策競争が起きない。たとえばアフリカでは有権者は政党についての情報が足りないため自分と同じ民族的属性の政党を支持する。民族的属性が自分と同じでも政治的（政策的）立場が異なる政党が競合しているため、政党は政策共有組織とならない（参考文献⑧）。

●買票選挙から業績投票へ

政党がどのようにして票を獲得するか、国や個人の所得水準は大きく関係する。所得水準が低いと、仲介者を利用した買票選挙が横行するが、所得水準が上がると政党は公共財に投資する（参考文献⑨）。構造改革により政府部門を縮小した国では、与党が支持者に分配できる資源は減少し、買票選挙の傾向は弱まっ

た(参考文献⑩)。アフリカにおいても投票率(特に女性のそれ)が高いと買票行為は弱まる(参考文献⑪)。また腐敗は、多党制よりも一党優位制のほうが少ない。それは与党支持が強いほど、政権は有権者支持獲得のために利益供与する必要が弱まるからである(参考文献⑫)。

所得水準が高くなると政党の選挙戦略が買票から公共財投資に変わるの、有権者が国内経済状況により支持政党を決めるようになる(業績投票)からである。ラテンアメリカでは政権任期の初めは将来の経済状況予想、終わりは過去の経済状況が、政権支持率を決める。国の所得水準が低いと国内経済状況よりも家計状況により政権支持を決める傾向が強まる(参考文献⑬)。東欧では国内経済状況は有権者の政権支持にあまり影響しないものの(参考文献⑭)、経済状況が悪い地域において旧共産党への支持が増す(参考文献⑮)。

すなわち、新興民主主義諸国において、選挙が繰り返され、政党が政策競争を行うようになると、政党制は制度化し安定する。また所得水準が上がると、利益供与の集票効果は低下し、国内経済状況をもとに支持政党を決める傾向が強まる。このように新興民主主義国の政党制は過去30年間で大きく変化し、多様化した。(はざま やすし/アジア経済研究所 中東研究グループ)

《参考文献》

- ① Mainwaring, S. and E. Zoco, "Political Sequences and the Stabilization of Interparty Competition: Electoral Volatility in Old and New Democracies," *Party Politics*, Vol.13, Issue 2, 2007, pp.155-178.
- ② Tavits, M., "Representation, Corruption, and Subjective Well-Being," *Comparative Political Studies*, Vol.41, Issue 12, 2008, pp.1607-1630.
- ③ Raymond, C.D., M. Huelshoff and M.R. Rosenblum, "Electoral Systems, Ethnic Cleavages and Experience with Democracy," *International Political Science Review*, Vol.37, Issue 4, 2016, pp.550-566.
- ④ Tavits, M. and N. Letki, "From Values to Interests? The Evolution of Party Competition in New Democracies," *The Journal of Politics*, Vol.76, No.1, 2014, pp.246-258.
- ⑤ Roberts, K.M., "Market Reform, Programmatic (De)alignment, and Party System Stability in Latin America," *Comparative Political Studies*, Vol.46, Issue 11, 2013, pp.1422-1452.
- ⑥ Hicken, A. and E. Martinez Kuhonta, "Shadows from the Past: Party System Institutionalization in Asia," *Comparative Political Studies*, Vol.44, Issue 5, 2011, pp.572-597.
- ⑦ Croissant, A. and P. Völkel, "Party System Types and Party System Institutionalization: Comparing New Democracies in East and Southeast Asia," *Party Politics*, Vol.18, Issue 2, 2010, pp.235-265.
- ⑧ Shaheen, M. and R.S. James, "The Puzzle of African Party Systems," *Party Politics*, Vol.11, Issue 4, 2005, pp.399-421.
- ⑨ Stokes, S.C., T. Dunning, M. Nazareno and V. Brusco, *Brokers, Voters, and Clientelism: The Puzzle of Distributive Politics*, New York: Cambridge University Press, 2013.
- ⑩ Hagopian, F., "Parties and Voters in Emerging Democracies," In C. Boix and S.C. Stokes eds., *The Oxford Handbook of Comparative Politics*, Oxford University Press, 2009.
- ⑪ Vicente, P. and L. Wantchekon, "Clientelism and Vote Buying: Lessons from Field Experiments in African Elections," *Oxford Review of Economic Policy*, Vol.25, Issue 2, 2009, pp.292-305.
- ⑫ Lindberg, S.I. and J. Jones, "Laying a Foundation for Democracy on Undermining It? Dominant Parties in Africa's Burgeoning Democracies," In M. Bogaards and F. Boucek eds., *Dominant Political Parties and Democracy: Concepts, Measures, Cases, and Comparisons*, London: Routledge, 2010.
- ⑬ Singer, M.M. and R.E. Carlin, "Context Counts: The Election Cycle, Development, and the Nature of Economic Voting," *The Journal of Politics*, Vol.75, No.3, 2013, pp.730-742.
- ⑭ Epperly, B., "Institutions and Legacies: Electoral Volatility in the Postcommunist World," *Comparative Political Studies*, Vol.44, Issue 7, 2011, pp. 829-853.
- ⑮ Tucker, J.A., *Regional Economic Voting*, New York: Cambridge University Press, 2006.